



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2023年7月

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

キックオフ・PRの月 (Kick Off・PR)

— 主題 —

国際会長 「輝かそう、あなたの光を」
アジア会長 「変革のための光となろう」
東日本区理事 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信と喜びを感じる機会を！」
北海道部部長 「
札幌クラブ会長 「充実した人生を送るためのワイス活動」

Ulrik Lauridsen
利根川恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)
古賀 勝己 (北見)
小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員
会長 小野 健
副会長 小谷 和雄
書記 秋葉 聡志
会計 秋葉 聡志
直前会長 伏木 康

今月の言葉

「わたしは思う。今のこの時の苦しみは、やがてわたしたちに現されようとする
栄光に比べると、言うに足りない。」 (ローマの信徒への手紙 8:18) 北川佳治選

巻頭言

「マイクロプラスチック」

札幌クラブ会計 秋葉聡志



ある奉仕団体の広報誌に海のプラスチックごみに関する記事が掲載されていました。最新の知見をご紹介します。

世界の海のごみのほぼ80%は陸からやってきます。ごみのほとんどは陸で捨てられ、川から海に出ます。海は海流で繋がっていますので、海岸で拾ったごみは他所から来たごみかもしれません、逆に捨てたごみはどこかに行くごみになります。世界中の海岸に落ちているごみの70%はプラスチックとされ、世界の水辺で検出されるごみ全体の約3分の2を食品に関わるプラスチックが占めています。世界中で一番多いプラスチックごみはレジ袋で、プラスチックごみの14%を占めています。

プラスチックごみが海に出してしまうと、どんどん細かく砕けていきます。直径5mmほどになったプラスチックを「マイクロプラスチック」といいますが、初めてマイクロプラスチックが認識されたのは1972年のことで、以後、世界中の研究者が海にどんなプラスチックがあるかを調べてきました。

南極から東京に向けて地球を縦断する航海で調査した結果、マイクロプラスチックが浮いていない海は、もはやどこにもない状態でした。さらに、海の小さな生き物を食べる生き物が、それらと同じような大きさのマイクロプラスチックを間違っでどんどん食べてしまう現象が起きています。世界中の生き物の体の中にプラスチックが入っているのが、今の地球の海の様子です。このマイクロプラスチックがどれだけ海に浮いているか調べたところ、世界の海に比べると、日本の周囲の海にはマイクロプラスチックがひどく多いということでした。日本の周りやアジアの海では、1平方kmあたり100万粒は浮いていて、太平洋の平均値の10倍の量が浮いているという結果でした。こんなに広がってしまったマイクロプラスチックはもはや回収は不可能です。

海岸でペットボトルを1本拾うと、太平洋で1平方kmあたりに浮かんでいるマイクロプラスチックをすくう行為と一緒に、重量的に同じになります。プラスチックごみを拾う、ごみを出さないことも大事なことです。もっと大事なことは、これ以上プラスチックを使わないようにすることでしょう。

未来の世代に美しい環境を残すための努力を続けていきたいと思ひます。

2023年6月例会
出席報告

在籍会員 9名	出席者 9名	メネット0名	メーカーアップ 0名
ゲスト 4名	ビジター 4名	出席者合計 17名	出席率 100%

札幌ワイズメンズクラブ2023年7月例会

日時： 2023年7月18日(火) 19:00~20:30 (開場:18:45)

場所： 札幌 YMCA 1階 101 教室

札幌市中央区南11条西11丁目2-5

会費： 無料

(市民に開かれた講演会形式なので、点鐘、聖句などは行いません。)

ウクライナを知る夕べ



講師：

ベロニカ・
クラコワさん

★祖国の現状

そして今私達に

★何が出来る

ベロニカ・クラコワさん

今、原発が危機に瀕しているザポリージャ生まれ。アニメを通じて日本に興味を持ち、2020年11月、来日。水戸市で日本語を学び、その後日本人と結婚。22年2月末から札幌駅前で抗議活動を行っている。

何故このことばを 北川 佳治

新型コロナウィルスの苦難からようやく、というところで様々な希望も見えていますが、苦難は様々な尽きないものです。それでも、その都度、必ず乗り越えられ、今よりも更に成長・進化できるから大丈夫だ、希望は巡り廻る、と思いをはせることを後押ししてくれる聖句です。

今は、札幌 YMCA 将来構想に向け突き進みます。

札幌ワイズメンズクラブ6月例会

日時： 2023年6月20日(火) 18:30~20:30

場所： 札幌 YMCA101 教室

参加者：秋葉、北川、柴田、中田、宮崎、山崎、伏木

6月例会は武蔵学北海道 YMCA 理事長に「札幌農学校と北大 YMCA—札幌バンドの系譜と小国主義」というテーマでお話いただきました。武蔵理事長が卒業した甲府第一高校と北大とのつながりについても言及していただきました。昨今は汝羊寮に学生が戻った話も聞け、今後ワイズメンと寮生の交流を図りたいと感じた次第です。

(伏木記) (p. 4~5 参照)

札幌クラブとの合併の経緯 ★★★ 旧札幌クラブ北会長 小谷 和雄



札幌クラブの皆様こんにちは、札幌北クラブは6月末にて親クラブである札幌クラブに吸収合併の形で、42年余りの歴史に幕を閉じました。私は最後の会長でした。8名のメンバーの内、半数が退会し半数が札幌クラブ

へ移籍となりました。宜しくお願い致します。

札幌北クラブは1981年4月30日（登録上のチャーターは1981年5月23日）に札幌クラブの支援を受け北本巖会長はじめ37名で設立されました。残念ながら、チャーターメンバーは何方も残っていませんが、2年前の2021年3月に召天されました森熊治郎さんがチャーターメンバーでした。また義村小夜子さんは、元々は札幌クラブのメネットでした。義村さんの亡くなったご主人義村政見さんは、札幌クラブから札幌西クラブ設立時に、札幌西クラブへ移籍。その後札幌西クラブの解散に伴い札幌北クラブへ移籍しました。政見さんが亡くなった後、小夜子メネットさんがメンバーとしてワイズへ入会されました。私よりもワイズ歴は長い方です。若いときは、札幌クラブ例会の食事はメネットさん方の手作りとお伺いしていました。更に今回の合併でメンバーではありませんが、藤川幾久子さんは特別メネットとして転籍が赦されました。藤川さんの亡くなったご主人藤川建蔵さんがチャーターメンバーでした。

小生、小谷は1982年7月のキックオフ例会にて、二代目クラブ会長保田博さん司式にて入会し、41年間札幌北クラブを見てきました。札幌北クラブ設立直後は40名前後のメンバーが在籍しておりました。当時は青年会議所（JC）メンバーが多く活発でした。YMCA バザーでは60万円稼ぎ、YMCA（当時はYMCA 麻生センター）に中古車を贈呈したそうです。

ワイズは偏った職種を嫌い、メンバーになるためには1業種2名までと制限がありました。政治・宗教などの信条は問わないのがワイズでしたが、私自身はノンクリスチャンでした。しかし父の葬儀で世話になった教会、2010年に日本基督教団札幌教会にて受洗し、クリスチャンになってしまいました。

札幌北クラブ最後の8名全員がクリスチャンでした。メンバーの高齢化と共に、若手メンバーが獲得出来なかったこと、若手が入っても育てることが出来なかったことが、クラブ衰退に繋がったと思います。また例会のプログラムも単調になったことも、魅力を失ったと思います。初期の頃はリーダーとの交流がありましたが、後半は全くありませんでした。具体的には夏冬のYMCA プログラムが終了した後は、毎回でないにしても「ご苦労様会」と称してリーダーを招待していました。またキャンプの前にはキャンプ場のワークもしていました。

キャンプ中にはスイカを持って慰問したこともありましたが。高齢だからワークは出来ないと言われると返す言葉もありませんが、札幌クラブの中田靖泰ワイズのように、その場にいる事、「監督」が重要なのですが、「ワイズで何をやるの」を忘れてしまったら、ワイズ衰退は目に見えてハッキリしていました。私としては、それが出来なかったことが力不足でした。本当に残念な結果になってしまったことをお詫びいたします。本音で言うなら、自分の力量不足を感じて「ワイズ退会」を考えていました。クラブ設立40周年記念も、式典開催は無理と考え、「40周年記念誌の発行」を持って退会を前提に過去の情報を整理したものでした。仕事をしながら、掛け持ちのボランティアはやはり困難でした。オーバーワークでした。幸い身体だけが丈夫だったのでここまで出来ました。目配り・気配りの余裕が全くありませんでした。「ゴメンなさい」の一言しかありません。

これからは、札幌クラブメンバーとしてお手伝いさせて下さい。自分を使って下さい。出来る事と出来ないことがあります。新メンバーとして仲間に入れて下さい。この度移籍した他メンバー共によりしくお願い致します。



札幌北クラブ最後の例会。（札幌Cとの合同例会）

札幌農学校と北大YMCA ★★★ 北大YMCA 理事長 武藏 学



はじめに

この2年間、北大YMCA 汝羊寮の寮生が不在となり、昨2022年12月の総会で閉寮を決議しようとしたが、その直前にシェアハウスとして利用するために入寮したいとの学生の申し入れがあり、決議は保留となった。

この4月から8名の男女寮生が入寮したので、北大YMCAの歴史を少しでも知ってもらい、後輩に引き継いでいって欲しいとの願いから学Y例会で本日のテーマの講演を行った。ワイズのメンバーには「何をいまさら」という内容かもしれないが、特に、札幌バンド内の亀裂とその後の歩みを、内村鑑三と大島正健の弟子である石橋湛山の「小国主義」に注目し、アジア・太平洋戦争前に権力に抗った彼ら抵抗者の系譜を追ってみたい。

I. 札幌バンドについて

1) 札幌バンドの背景

「札幌はもともと封建的なものからまるで払拭されていた町」（島木健作）と言われたように何もない町で、初期には北海道開拓のために置かれた札幌農学校のカレッジ・タウンとしても発展した。農学校の教員はW.S.クラークを筆頭にニューイングランドのピューリタン的特質を持つアマースト大学出身者が多く、リベラルアーツを重視する教育を行った。一方、学生は明治維新により没落した下級士族出身者らと、彼らは東京で宣教師による英語教育を受けていた有能な学生達であった。

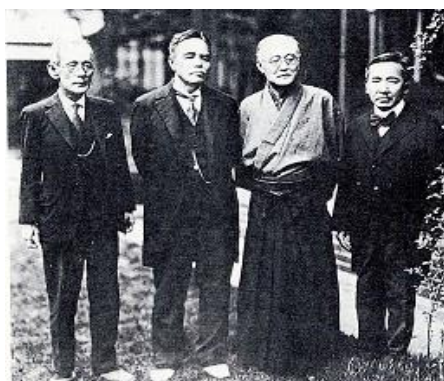
このような教師と学生が伝統の桎梏から解放されていた札幌で出会ったことは正に天の配剤・奇跡と言えるかもしれない。

2) 札幌バンドとその亀裂

札幌バンドと後に称される札幌農学校の代表的学生として1期生では、後の農学校校長・北海道帝大総長となる佐藤昌介、超教派の公同教会を目指した札幌基督教会（後の札幌独立基督教会）指導者の大島正健、道庁の初代水産課長の伊藤一隆、2期生では、高名な内村鑑三、新渡戸稲造、「港湾工学の父」廣井勇、農学校植物学教授で大島と共に札幌基督教会を指導した宮部金吾を挙げることができる。なお、3期生は1・2期生に反発して反キリスト教的だった。

札幌バンド内の亀裂は農学校卒業後、公同教会・無教会主義を目指す大島・伊藤・宮部達とメソジスト教会に留まった佐藤との間に生じ、特に大島が無資格で独立教会内で洗礼を受け、聖餐式を執行したことが問題となった。その間、同志社の新島襄が同志社出身の牧師を同教会へ派遣して支援した。大島に対しては教派牧師達が試験して資格に該当するか決することとなり、大島は合格してこの問題は決着した。しかし、その後、大島は農学校を去り、同志社へ移ることになるが（1893年）、官立学校の教員が牧師を兼務するのは不適切との佐藤の圧力があつたととする説がある。

一方、農学校が東北帝大農科大学（1907年）、北海道帝大（1918年）へと発展する中で、校長・総長を務める佐藤が科学に重点を置くハーバード大学を目指したのに対し、1・2期生の多くがリベラルアーツを重視するアマースト大学を目指すという方針の違いもあったと思われる。内村に倣って非戦論を唱えたと思われる農学校画学講師を佐藤校長が解雇したこと、さらに北海道帝大設置に当たり、佐藤総長が足尾鉍毒事件の古河財閥から多額の寄付を受けたことを内村が厳しく批判して亀裂は決定的となり、北海道帝大創基50周年記念式典へも内村は欠席する。内村初め伊藤・大島・廣井・宮部が佐藤に対して不快感を有していたとのことである。



写真左
左から、伊藤、内村、新渡戸、大島
何故か、佐藤昌介の姿がありません。

II. 抵抗者たち

佐藤昌介は札幌農学校から東北帝大農科大学、北海道帝大へと発展させたことから「北大の父」と呼ばれている。一方、彼と袂を分かった内村鑑三、大島正健のその後の人生はどうであったのか？ 彼らは以下に述べるように、時の権力者に迎合することなく自らの国の在り方を主張し、国家主義的天皇制への抵抗者としての姿勢を貫いた。札幌バンドに連なる北大YMCAも彼らの在り方を継いでいきたいと願っている。

札幌バンドとは？

札幌バンドは、日本のプロテスタントの発祥地の1。札幌バンドの中の内村鑑三、新渡戸稲造、宮部金吾を中心とする青年の活躍は注目され、横浜バンド、熊本バンドと並んで日本のプロテスタント発祥の3基点の1つに数えられている。札幌農学校（現在の北海道大学）の草創期の学生は、ウィリアム・スミス・クラーク教頭の感化でキリスト教信者になり、「イエスを信ずる者の契約」に署名をした。この契約に署名した学生の集団は、後に札幌バンドと呼ばれることとなる。「誓約」は、キリストの告白、十字架のキリストへの感謝、その表現としての「真実基督教徒たる諸々の義務」を求めると共に、信仰の基準としての聖書を「神の人の言語を以て顕せる唯一なる直接の天啓」として信ずることも要求されている。ことに注目されるのは、適当な機会があれば、信仰の諮問を受けた上で受洗し、「或る福音主義の教会に加入すべきこと」を誓約した。青年達は、1878年（明治11年）、メソジスト派の宣教師M.C.ハリスから洗礼を受けた。（ウイキペディア）

編集部注：バンド(band)とは、「共通の目的を持った人々の一団をいいます。

1) 内村鑑三

内村については多くが語られているので、国家主義的天皇制との摩擦から第一高校を追われた「不敬事件」、彼の弟子である南原繁の「昭和天皇退位論」、矢内原忠雄の日中戦争批判を指摘するに止め、彼の「小国主義」を取り上げる。

「デンマルク国の話」で彼はこう述べる、「かならずしも英国のごとく世界の六分の一の持ち主となるの必要はありません。デンマルクで足りる。然り、それよりも小なる国で足りる。外に拡がらんとするよりは内を開発すべきであります。」(『後世への最大遺物』)と、日本の植民地主義・拡大主義を批判した。内村の「小国主義」であり、日露戦争に際しては非戦論を唱えた。

2) 大島正健

大島は1・2期生が署名した「イエスを信じる者の誓約」の推進者で、当初消極的だった内村をも説得して参加させている。大島はクラークの”Boys, be ambitious!”の言葉を伝えたことでも知られる。先に述べたように大島は農学校を去って同志社で教鞭を取ったが、新島の死後、同志社を辞して奈良中学を経て、甲府中学(現・山梨県立甲府第一高校)校長となった(1898年)。小学校校長で芥川龍之介等による文化講演会を催した堀内柳南と並んで、大島はクラーク譲りの自由な教育を行い、特に英語教育に力を入れて生徒の目を世界に開かせることにより明治~大正期の山梨県教育界を牽引した。甲府中学で彼の影響を受けた一人が東洋経済新報社主、戦後の1956年に



札幌農学校。現在の時計台の場所に建っていた。

総理大臣となった石橋湛山である。石橋は戦前に経済的根拠を明示しつつ「小日本主義」を主張して時の内閣、軍部を鋭く批判した。「朝鮮・台湾・樺太・満州というごとき、わずかばかりの土地を棄つることにより広大な支那の全土を我が友とし、進んで東洋の全体、否、世界の弱小国全体を我が道徳的支持者とすることは、いかばかりの利益であるか測り知れない。」(「大日本主義の幻想」、東洋経済新報 大正10年7月30日)。首相就任後、僅か2か月で肺炎のために辞任したが、彼が長く首相を務めていれば、中国・ソ連との国交回復を実現して現在のようなアメリカ一辺倒の日本の在り方は大きく変わっていたと思われ残念でならない。



写真左：
左、大島正健、右、石橋湛山

写真右

「大志の碑」があるのは札幌だけではなく、甲府第一高校に建っている大島の顕彰碑に”Boys be ambitious!”が刻まれています。甲府第一高校は私(武蔵)の出身校です。



III. 北大YMCA・汝羊寮のこと

北大YMCAの創設は、札幌農学校基督教青年会が札幌基督教青年会から分離独立した1901年とされている。当時の札幌の人口は僅かに5-6万人であった。1909年には世界学生キリスト教連盟(World Student Christian Federation, WSCF)から日本YMCA連盟への寄付を割り振られて農科大学基督教青年会寄宿舎が北12条西2丁目の現在地に完成した。1933年には寄宿舎は佐藤総長により汝羊寮と命名され、1940年に2代目の汝羊寮が札幌YMCAのローリー館の売却益を寄贈されて同じ場所に完成。第3代の寮は1971年に寮の土地半分の売却益とOB等の寄付により完成した。このように汝羊寮は、札幌YMCAの支援により存続してきたことが理解される。因みに私は1971年の3代目の現寮が完成した時に土屋博先生に勧められて入寮し、卒業まで在寮した。卒業後もOB理事として関わり、土屋前理事長の後を受けて理事長を仰せつかっている。

私の知る北大YMCAの指導者は以下の大学教員で、新島善直農学部教授、同じく時田郁教授、中川秀恭文学部教授・北海道教育大学学長、時任正夫北星学園長、竹山太郎工学部教授、土屋博文学部教授、寺岡宏北星短大教授、小林義康保健管理センター講師、船津秀樹小樽商科大学教授等であった。また、西村久蔵ニシムラ創業者、中野友雄北電社長、井上猛独立教会主幹、大久保進医師、神田稔北星高校教諭の指導・支援があったことも記しておくたい。

汝羊寮は寮生による自治寮で、毎朝の聖書輪読会、毎週金曜日の学Y例会・寮集会を持ち、入寮希望者の選考も寮生が行っていた。例会では聖書研究や自由な問題提起(発題)を行い、屢々議論は深夜に及んだ。1969年の夏季学校終焉後は1972年から主に東山荘で開催される夏期ゼミナールへも参加し、その実行委員も担ってきた。東北大学溪水寮との交流も定期的に行っていた。また、年5回寮生とOB半々で構成される理事会を持ち寮生の報告を受けて必要な協議・決議を行い、その後、寮生との会食会で寮生・OBの交流を深めていた。この2年間は、自治寮であることの負担、上級生から下級生への主体的活動に係る継承が破綻して寮生不在となったが、この春にシェアハウスを希望する男女学生8名が入寮し、2階と3階を住み分けて月1回のOBも参加する学Y例会を再開している。「被造物のいのちが豊かに守り育てられ、愛に基づく正義と平和と和解に満ち、キリスト者の理想を分かち合える社会」(「チャレンジ21」概要)を目指して北大YMCAの新しい歩みを進めていきたい。

YMCAニュース 担当主事 北川 佳治

☆短期集中サマープログラムがいよいよ開始

7月26日よりサマーキャンプおよび札幌 YMCA 館内で実施するアクアティック、フロアスポーツ、学びのプログラムが順次行われます。

総勢1,000名を超える子ども達がYMCAで体験活動の機会を得ます。ひと夏の思い出づくりと良き経験を積んでもらえるように、スタッフ一同準備を進めてまいります。



写真左：
22年度キャンプより
寿都での海あそび



イラスト右：
滝野自然学園 HP より
自然学園とその周辺

☆札幌 YMCA 幼稚舎キャンプ

7月16日・17日で札幌 YMCA 幼稚舎のキャンプが行われます。

コロナ禍の影響による中止から、ようやく昨年再開することができ、今年も引き続きの実施となります。年少組はデイキャンプ、年中・年長組は1泊キャンプとなります。会場は、札幌南区に在る滝野自然学園となります。自然豊かなフィールドで、山・川を利用した活動を行います。

子どもも保護者も、期待と不安が入り混じった心境だと思われそうですが、涙と笑顔の分だけ、たくましくなってお家に帰っていくものです。園児・保護者・保育者・その他スタッフ・リーダー皆で良いキャンプにしていきたいと思えます。キャンプだホイ！

決算見込・次年度予算について：

- ・決算は、最終的に監査を経て7月事務会で決議する。
- ・次年度予算：提案予算で暫定的に会務を開始し、▼札幌北クラブからの持参金加算、▼東日本区大会主事参加費の増額、等について検討・修正した最終予算を7月事務会において決議する。

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。

札幌クラブ6月事務会報告

※札幌・札幌北ワイズ合同6月事務会記録

日時：2023年6月27日(火)19:00~20:30(対面&オンライン☆併用開催)

出席：【札幌】伏木(長)、秋葉、小野、中田、安田☆、北川 【札幌北】小谷

【議事内容】

1. ブリテン7月号について
 - ・別紙中田メン資料参照。今回は6ページ構成とし、6月卓話要旨に2ページ割り当てる。
2. 7月例会について
 - ・タイトルを「ウクライナを知る夕べ」とし、オープン例会として実施。
 - ・日時：7月18日(火)19:00~20:30 開場：18:45
 - ・場所：札幌YMCA 101・102教室
 - ・対象：小学校高学年~成人 ※小学生保護者同伴
 - ・会費：無料
 - ・卓話：「ウクライナの過去・現在、そして未来」(仮)ベロニカ・クラコワさん
 - ・ワイズ例会としての定型プログラムはなし。ワイズ会員は運営側にまわる。
 - ・ワイズ会員18:00集合、会場セッティング
 - ・卓話40分+質疑応答、懇談(菓子と飲み物用意)
 - ・YMCAウクライナ支援募金の実施
 - ・ブリテン原稿用のベロニカさん卓話要旨のまとめ 小野メン担当
 - ・ベロニカさんにプレゼン方法確認 秋葉メン
 - ・申し込み方法 ①YMCA宛電話申し込み ②伏木メン宛メール
 - ・案内作成 伏木 最終校正確認後1000部作成
3. 7月15日チミケップワークについて：
 - ・6月中止のワークを7月15日(土)に実施。
 - ・参加者：小野、小谷 要確認：宮崎、本宮
 - ・参加者で移動交通手段を手配
4. 8月例会について：
 - ・日程：8月15日(火)お盆中につき調整の結果、8月24日(木)に日程変更
 - ・内容：卓話なし、札幌クラブ・北クラブ合併式 本宮さん入会式
5. ワイズピアノコンサートについて
 - ・開催次期：11月~12月実施
 - ・会場：時計台ホール 12月13日(水)を第一候補として予約作業 安田
 - ・チェロとのジョイントについては変更し、安田会員を中心に内容を検討する。
 - ・安田さん主宰のポーランド研究会のNPO法人化のため、ワイズに役員就任要請あり。協議の結果、小野会長が同法人役員に就任の意向。
6. 7月事務会について
 - ・7月25日(火)19:00 札幌YMCAにて
7. 次期クラブ役員人事について
 - ・次期クラブ役員について、北ワイズメンバーを含めて小野会長が検討中。
 - ・副会長に小谷メンに就任要請し承諾を受ける。
 - ・両クラブ合同によるDBC、IBC等の整理、事務処理が今後必要
9. その他
 - 1) 小野次期会長より、例会卓話者の検討要請があり、会員より以下の提案があった。①小野会長関連国際協力リソース ②本宮会員 ③新内鹿兒島Y総主事(チアダンス世界大会への道) ④学Y高井理事(トルコ・シリア地震現地レポート) (秋葉記)